

研究実施のお知らせ

2024年12月12日 ver.1.0

研究課題名

クッシング症候群における乳酸脱水素酵素上昇に関連する因子の検討(探索的検討)

研究の対象となる方

2008年4月から2024年12月の間に島根大学医学部附属病院でクッシング症候群と診断された方

2017年4月から2024年12月の間に島根大学医学部附属病院でサブクリニカルクッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、非機能性副腎腫瘍と診断された方

研究の目的・意義

乳酸脱水素酵素は、全身の様々な組織細胞内に含まれており、エネルギー調節に重要な役割をもっています。組織が壊れるような疾患において乳酸脱水素酵素が上昇することが知られていますが、過去にクッシング症候群においてもこの酵素が上昇するとの報告が散見されます。今回は、クッシング症候群では他の副腎疾患(原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、非機能性副腎腫瘍)と比較して、乳酸脱水素酵素が高値を示す方が多いか否かについて検討を行います。もし、クッシング症候群において乳酸脱水素酵素高値を認める人が多いのであれば、健康診断や通常の検査において、乳酸脱水素酵素が高い方をみたときに、クッシング症候群の可能性も考えて診療をすすめる必要があると世の中に発信することができます。さらに、クッシング症候群の患者さんの中でも、どのような特徴を有する方でこの酵素が上昇していることが多いのかについても検討します。

研究の方法

クッシング症候群、その他の副腎腫瘍の患者さんにおいて、乳酸脱水素酵素が高い方の割合を算出します。クッシング症候群では、その他の副腎腫瘍の方と比較して乳酸脱水素酵素高値を呈する方の割合が高いか否かを統計解析します。

さらに、クッシング症候群の方において、乳酸脱水素酵素が高い方でどのような特徴があるのか、以下の指標を解析します。

- 1) 年齢、性別、身長、体重、BMI、体温、血圧
- 2) 身体所見として以下の所見の有無(満月様顔貌、ざ瘡、皮膚菲薄化、皮下出血、中心性肥満、下腿浮腫)

- 3) 血液生化学指標(LDH、白血球数、白血球分画、赤血球数、Hb、血小板、PT%、D-dimer、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、ALP、 γ GTP、BUN、Cr、CRP、早朝空腹時 ACTH、早朝空腹時コルチゾール、尿中遊離コルチゾール、DHEAs、アルドステロン、レニン活性、尿中メタネフリン分画、血中メタネフリン分画)
- 4) Fib-4 index
- 5) CTまたはMRI 検査における副腎腫瘍サイズ、転移病変の有無

個人情報について、年齢や住所等々の情報は今回の検討に用いません。患者さん個人の特定が可能な ID などと研究で用いる情報は別に管理します。データ収集は島根大学医学部内科学講座内科学第一の鍵付きのロッカーに保存されている、一部の人しかログインできないパソコンのみを用います。

研究の期間

2025 年 1 月 19 日～2026 年 12 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 野津雅和

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 12 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一／附属病院内分泌代謝内科 野津 雅和

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650